



「新たな取組の様子をシリーズでお届けします～第2回～」

校長 村上洋司

シリーズの第2回は、「グローバル教育（国際理解教育）」のプロジェクトです。このプロジェクトは、昨年度まで実践してきました国際理解教育を包含し、さらに一歩進めて地球規模で物事を捉え、理解に留まらず実践的態度を育成しよう、とする教育です。この「地球規模」「実践的態度」がキーとなります。

さて現在までに行われている内容としましては、小学部1・2年が ヤマダ スクール オブ アートの山田隆量先生を講師にお招きし「見たこともない木を描こう」をテーマに、共同制作をしました。当日は、どの子ものびのびと面白い木をクレヨンで描き、8色の絵の具を使って色塗りをしました。また、小学部3・4・5・6年が、国際交流基金の足利様、ソクマック様を講師にお招きし、現地校交流で日本アニメ・マンガの魅力を紹介するための前段階として「カンボジアの方から見た日本の魅力」についてお話をしていただきました。子どもたちは普段から興味のあるアニメやマンガの話とあって多くの質問が出ていました。

次にこれら事前学習を踏まえて6月には、現地校のポチェントン小学校と4年ぶりに交流をしました。コロナ禍の影響で3年間交流が途絶えていましたが、本校のことはよく覚えていてくださり交流再開を快諾していただきました。当日は、今まで自分たちが学んできたクメール語をできるだけ使って実践的態度を育てることも大きなねらいでした。今回はポチェントン小学校の皆さんに本校に来ていただいたの交流会でした。開会式の後には、全員でミニレクとしてボール運びや玉入れをいっしょに楽しみました。



その後各教室に別れて学年別でアート交流やアニメ・マンガ紹介や日本文化紹介等を、クメール語をできるだけ使って親睦を深めることができました。この交流会では、普段クメール語講座でお世話になっているプノンペン王立大学の日本学科の学生さんに通訳をお願いしていることもあり、子どもたちは、スムーズに打ち解けることができていました。子どもたちからは、「たくさん話ができ楽しかった」「私が問題で出したアニメのキャラクターをしていたので嬉しかった」等の声が聞かれました。

11月には、本校の子どもたちがポチェントン小学

校に出かけて文化交流をする予定です。

更に夏休みが明けての9月には、恒例となっている「第3回 SCIA との英語での交流プログラム」が SCIA

を会場に小学部で実施される予定です。本年度は、SCIAからのたつての要望で「茶道」「書道」「浴衣体験」等の実施も検討しています。オールイングリッシュでの交流プログラムとなりますので、今まで学習で培ってきた英会話力で日本文化を発信する絶好のチャンスです。

今後行われます「こどもまつり」「宿泊体験学習」「学習発表会」等の行事や各教科学習においても、このグローバルな視点を持った学習を積み重ねていき、子どもたちに「生きてはたらく力」を着実に付けてまいりますのでご期待ください。

お知らせ

こどもまつり

7月21日(金)日本人学校にて「こどもまつり」が開催されます。保護者は参観できますので是非おいでください。各学年団によって趣向を凝らしたブースを出店するほか PTA から出店予定があります。

8:00 開会式~10:10 閉会式。(11:40 下校)

夏休み作品展 9月4日(月)~9月8日(金)

昨年と同様今年も「夏休み作品展」を開催致します。場所は日本人学校3階多目的室です。

保護者もご覧いただけます。保護者の鑑賞の時間は9:00~15:00です。

来校の際、入校証をお忘れのないようお願い致します。入校時に警備員にご提示ください。

☆学校伝染病に罹患した際の「治癒証明書」の取り扱いについての変更☆

インフルエンザなどに罹患した場合登校停止となる学校伝染病について、従来、治癒後の再登校時に「治癒証明書」を学校へ提出することとなっていました。

この度、学校医との相談の上、上記の本校規定を変更し、再登校の場合、医師による治癒証明書は必要なし、と致しました。医師の診断により登校の許可をいただいた上で、再登校が可能となります。以上変更についてよろしくお願い致します。

